

科目名	公 民(政治・経済・社会・倫理・時事)		担当教員名	後藤 みのり		<input type="checkbox"/> 実務経験	
学科名	公務員		学科	学年	1	単位数(時間数)	100時間
実施時期	4 月 ~ 10 月	授業形態	講義	<input type="radio"/> 演習	<input type="checkbox"/> 実習	<input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> ○は主、△は併用
教科書 及び参考書	高卒程度 公務員試験対策 社会科学 テキスト 高卒程度 公務員試験対策 社会科学 問題集						
授業の概要とねらい							
公務員試験に出題される社会科学分野のうち「政治」、「経済」、「社会」、「倫理」及び「時事」について公務員試験に出題される範囲を解説していく。また、知識定着度の確認及び応用力をつけるために、センター試験や過去に出題された公務員試験問題を用いた演習と解説講義を行う。また、暗記に頼らないように、根本原理やシステム・考えを説明していき、苦手意識の撤回をしていく。							
到達目標							
公民分野の得点率を8割に設定する。							
授業計画							
授業項目・内容			時間数 (コマ)	教育活動(教材、指導上の注意点)			
民主政治の成立			2				
世界の主な政治体制			2				
大日本帝国憲法と日本国憲法			2				
基本的人権の尊重			2				
国会			2				
内閣			2				
裁判所			2				
地方自治			2				
現代政治の課題			2				
国際法と国連			2				
国際政治の課題			2				
市場と需要・供給曲線			2				
企業			2				
経済学			2				
国府と経済成長			2				
金融			2				
財政と財政政策・金融政策			2				
日本経済の発展			2				
貿易と国際収支			2				
国際経済			2				
環境と資源			2				
科学技術の発展			2				
私たちの経済活動			2				
社会保障制度			2				
私たちと農業			2				
古代ギリシャ思想			2				
仏教・イスラム教・中国の思想			2				
日本の思想			2				
西洋思想①			2				
西洋思想②			2				
時事			2				
問題演習(センター試験・過去問など)			38				
合 計			100				
時間外学習について 誤答ノートの作成を指導する。本番直前には集中講義を行う。							
成績評価の方法及び評価割合について							
その他(科目と実務経験との関連性について)							

科目名	理科		担当教員名	上妻 博文		□ 実務経験			
学科名	公務員	学科	学年	1	単位数(時間数)	単位 (100時間)			
実施時期	4月～10月	授業形態	講義	○	演習	○	実習	実技	○は主、△は併用
教科書 及び参考書	自然科学テキスト&問題集								
授業の概要とねらい									
国家Ⅲ、地方公務員、警察官等、高卒者の公務員一次入試に対応した学習をする。化学、生物、地学の分野における基礎的な知識や計算法を学習し、過去問などの演習により、記憶の定着化、問題解決の学力向上を図る。									
到達目標									
基礎的な用語を理解し、計算力を身につける。最終的には、目指す公務員試験に合格すること。									
授業計画									
授業項目・内容			時間数 (コマ)	教育活動(教材、指導上の注意点)					
(化学)				授業ノート、質問ノート、誤答ノートを作る。					
物質の成り立ち 原子、結晶、化学反応式			2	必ず復習して、復習テストの点を上げる。					
気体の性質 気体の法則、状態方程式			1	毎時間、自己点検を記録し、疑問点は質問ノート					
溶液と溶解度 濃度、溶解度、コロイド			2	で解決する。					
化学反応 熱化学、反応の経路、化学平衡			1						
酸・塩基 酸・塩基、水素イオン濃度、中和反応			1						
酸化・還元 酸化数、イオン化傾向、電池と電気分解			2	予習→授業→復習→復習テスト→やり直しの反復練習により、定着を確認する。					
無機物質 金属元素、非金属元素、気体、イオン			2						
有機化合物 燃焼、炭化水素、分類と反応			2						
(生物)									
細胞の構造と働き 構造と機能、温度圧、ホルモン			2	校内模試・統一模試は質問ノートを利用して、問題解決を図る。					
同化と異化のしくみ 光合成、呼吸、酸素、消化			1						
体液と恒常性 血液の働き、腎臓、肝臓			2						
刺激伝達と反応調節 神経系、ホルモン、反射と行動			1						
遺伝 遺伝の法則、性の決定、DNA			1						
生殖・発生・進化・生態系 細胞分裂と発生			1						
(地学)									
大気と地球 大気圏、地球の内部、地震、火山			1						
地殻の構成物質 火成岩、堆積岩、造岩鉱物			2						
地球の歴史 地殻変動、プレート、化石と地質年代			1						
水、大気の循環と天気 雨・風、循環、気団と前線、天気			2						
地球・天体の運動 自転と公転、惑星、ケプラーの法則			1						
太陽系と宇宙 太陽系、恒星、HR図、銀河系			1						
(化学) よく出る用語と公式のまとめ			1	質問ノート、誤答ノートを活用し、わからないまま放置しない。 再度、見直しをして、基本から確認する。					
(生物) よく出る用語と公式のまとめ			1						
(地学) よく出る用語と公式のまとめ			1						
(物理) よく出る用語と公式のまとめ			1						
過去問の演習 国家Ⅲ種			6						
過去問の演習 地方公務員			8						
過去問の演習 警察関係			6						
復習問題・解説 化学			8						
復習問題・解説 生物			9						
復習問題・解説 地学			8						
校内模擬試験15回、統一模擬6回、公開模擬3回			22						
			100						
時間外学習について									
教科書を用いて事前に予習すること。また、前時の復習をして、復習テストに備えること。質問のノートを作り、疑問点の解決を図ること。模擬試験は、自己学習として採点やり直しをして提出する。									
成績評価の方法及び評価割合について									
毎時間、自己評価をして提出する。また、復習テストによって達成度を確認する。									
その他(科目と実務経験との関連性について)									
授業態度、学習意欲を通じて、基本的な生活習慣、向上力、粘り強さを養う。									

科目名	課題処理		担当教員名	坂本 勝		□ 実務経験	
学科名	公務員	学科	学年	1	単位数(時間数)	100時間	
実施時期	4月～10月	授業形態	講義	○	演習		○は主、△は併用
教科書 及び参考書	高卒程度 公務員試験対策 課題処理 テキスト&問題集						
授業の概要とねらい							
公務員採用一次試験合格のための講座として実施する。課題処理は満点を目指す科目であり、基本パターンの習得が重要となる。まずはテキストをメインとして基本パターンを習得し、それを基にした実践問題の解法までを指導する。							
到達目標							
国家公務員一般・税務ではこの科目から7問出題されるが、7問中5問以上とれるようにする。							
授業計画							
授業項目・内容			時間数 (コマ)	教育活動(教材、指導上の注意点)			
命題と三段論法・論理と集合			2	公務員テキスト③の1テーマ3～4ページを2コマの授業で取り上げ、そのテーマについての問題を補足プリントとして実施する。 期間としては2ヶ月弱となるが、ここでは基礎力をつけていくことが目標で、解くことがむづかしい問題には手を出さない。			
換字式暗号・転置式暗号・分置式暗号・その他、座標など			2				
二集合対応・三集合対応・家系図			2				
定量的順序関係・定性的順序関係・順序関係の変動			2				
リーグ戦・試合数・トーナメント戦			2				
方位・位置関係			2				
手順・数量			2				
道順・一筆書き			2				
等積図・ジグソーパズル・隠された図形			2				
多角形の軌跡・円の軌跡			2				
立体図形の構成			2				
展開図・サイコロ			2				
投影図・折り紙			2				
立体図形の切断			2				
問題演習 論理と集合			2				
問題演習 暗号解読			2				
問題演習 対応関係			2				
問題演習 順序関係			2				
問題演習 試合の勝敗			2				
問題演習 方位・位置関係			2	期間としては2ヶ月弱となるが、ここでは本試験レベルの問題を解くことで実践力をつけることを目的とする。			
問題演習 手順や数量関係			2				
問題演習 道順・一筆書き			2				
問題演習 平面図形の数・模様			2				
問題演習 軌跡			2				
問題演習 立体図形の構成			2				
問題演習 展開図・サイコロ			4				
問題演習 投影図と折り紙			2				
問題演習 立体図形の切断			2				
過去問演習 国家一般・税務			6				
過去問演習 裁判所職員			6				
過去問演習 東京都			6				
過去問演習 東京特別区			6				
過去問演習 東京消防庁			6				
過去問演習 刑務官			6				
過去問演習 海上保安学校			6				
合計			100				
時間外学習について							
模擬試験誤答ノートの提出							
成績評価の方法及び評価割合について							
その他(科目と実務経験との関連性について)							

科目名	数的処理		担当教員名	坂本 勝		<input type="checkbox"/> 実務経験	
学科名	公務員		学科	1		単位数(時間数) 100時間	
実施時期	4月	～	10月	授業形態	講義	<input type="radio"/> 演習	<input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/>
教科書 及び参考書	高卒程度 公務員試験対策 数的処理・資料解釈 テキスト&問題集						
授業の概要とねらい							
公務員採用一次試験合格のための講座として実施する。数的推理・図形においては、小学校の算数から高校1年の数学までの基礎力確認と、それを基にした公務員試験独特の問題の解法までを指導する。 資料解釈においては、達成率や対前年比など、職業人として必須のデータの読み取り方から問題の解法までを指導する。							
到達目標							
国家公務員一般・税務ではこの科目から6問出題されるが、6問中4問以上とれるようにする。							
授業計画							
授業項目・内容				時間数 (コマ)	教育活動(教材、指導上の注意点)		
数と式の基本				2	テキストの1テーマを1コマの授業で取り上げ、そのテーマについての問題を補足プリントとして実施する。 期間としては2ヶ月半となるが、基礎力をつけていくことが目標で、ここでは難問には手を出さない。		
約数・倍数・記数法				2			
方程式の応用				2			
連立方程式・不等式				2			
時間・距離・速さ				4			
割合・比				2			
濃度				2			
仕事算				2			
数列、規則、魔法陣、覆面算				2			
その他数量関係				2			
三角形と多角形				2			
円、面積・角度				2			
立体図形				2			
場合の数				2			
順列・組み合わせ				2			
確率				2			
実数と構成比、指数と構成比				2			
増減率				2			
特殊な数表・図表				2			
問題演習 数と式の基本、方程式の応用、連立方程式				4	公務員テキストの1テーマ10数問の中から5問程度を1コマの授業で取り上げる。		
問題演習 不等式、速度・距離計算				4			
問題演習 割合・能力、数の並びと規則				4			
問題演習 平面図形、円、面積・角度				4			
問題演習 立体図形				2			
問題演習 順列・組合せ、特別な順列・組合せ、確率				4	期間としては2ヶ月半となるが、ここでは本試験レベルの問題を解くことで実践力をつけることを目的とする。		
問題演習 数表				4			
問題演習 図表				4			
問題演習 特殊な数表・図表				2			
過去問演習 国家一般・税務				4	過去3年ほどの本試験を使用して問題慣れをすすめる。時期としては試験直前期から本試験と並行しながらさまざまな種類の試験の過去問題をとくことで、どのような問題が出題されても対応できる実践力を高めていく。また、誤答を正答にするための誤答ノートを作成させる。		
過去問演習 裁判所職員				4			
過去問演習 東京都				4			
過去問演習 東京特別区				4			
過去問演習 東京消防庁				4			
過去問演習 刑務官				4			
過去問演習 海上保安学校				4			
合 計				100			
時間外学習について							
模擬試験誤答ノートの提出							
成績評価の方法及び評価割合について							
その他(科目と実務経験との関連性について)							

科目名	英語		担当教員名	倉原 浩二		□ 実務経験	
学科名	公務員	学科	学年	1	単位数(時間数)	100 時間	
実施時期	4 月 ~ 10 月	授業形態	講義	○	演習	△	実習
教科書 及び参考書	1 公務員テキスト (国語・英語・問題集)		2 Next One 5 5 5 (オリジナルテキスト)		3 MKV英単語集		
※ Must-Know Vocabulary to Pass the Civil Service Exam (公務員試験突破_これだけは覚えたい必須英単語)							
授業の概要とねらい							
中学英語文法総合診断テスト(200問)を行い、一人一人の学力を把握したうえで、語彙、文法、英文読解スキルを段階的に高める。週前半の2コマを英語の基礎語彙・基礎文法の習得にあて(SCOA対策含む)、週後半の2コマを模試問題の解説と演習を行う。4月から9月の6か月で基礎と模擬試験問題解答力をバランスよく育成し、公務員試験本番に自信をもって臨めるようにする。(5月以降、本番の試験受験者は個別対応。)							
到達目標							
【公務員試験問題】文法パート8割以上、英文読解パート5~7割以上、【SCOA】8割以上の正解率							
授業計画							
授業項目・内容			時間数 (コマ)	教育活動(教材、指導上の注意点)			
中学英語文法総合診断テスト(200問)			2	○Next One 5 5 5 (オリジナルテキスト)の構成			
文の種類(肯定文、否定文、疑問文、命令文)			1	I 精選入門英単語 2 3 0			
Be動詞、一般動詞			1	II 基礎英文(中学校3カ年) 2 7 0			
5文型、熟語的な表現(動詞句)、There構文、 重文と複文(接続詞)			4	III 場面別英会話 3 5			
形容詞(句)、副詞(句)、前置詞(句)			2	IV PEP TALK 2 0			
名詞、代名詞			2	V 英文読解のための15の鉄則			
構文分析で利用する記号; [名詞]、(形容詞)、<副詞>			2	○精選英単語 2 3 0が終わったあとで英検2級単 語集に入る(先に進みたい生徒は家庭で先行学習 する)			
時制(現在、過去、未来)			2	○MKV英単語集の中の単語をSCOA形式(単語の 意味を英語で説明)に作り変える。(50問/1 h)			
進行形、現在完了、過去完了、未来完了			2	○4月の1か月は「英文読解のための15の鉄 則」を反復・徹底する。			
助動詞、受動態(熟語的表現)			2				
不定詞(名詞/形容詞/副詞的用法)			2				
動名詞(名詞的用法; S,O,C)			2				
現在分詞、過去分詞(形容詞的用法/前置修飾、後置修飾、/副詞的用法)			2				
関係代名詞、関係代名詞の省略			2				
比較			2				
仮定法過去、過去完了、未来			3				
模試と解説 (1) (2)			5	○5月連休後から、模試問題(4月以降に解いた問 題)をもう一度解き、それを授業で解説する。 ※問題用紙は模試2~3回分の中から文法問題、 英文読解問題を精選して並び替えたものを準備す る。 ○誤答ノートの作成を指示する。 ○授業中に生徒からの質問タイムを設ける。面接 試験を意識して「考えて、声を出す練習」を兼ね る。(First Penguin)			
模試と解説 (3) (4)			5				
模試と解説 (5) (6)			5				
模試と解説 (7) (8)			5				
模試と解説 (9) (10)			5				
模試と解説 (10) (11)			5				
模試と解説 (11) (12)			5				
模試と解説 (14) (15)			5				
模試と解説 (13) (14)			5				
模試と解説 (15) (16)			5				
模試と解説 (17) (18)			5				
模試と解説 (19) (20)			5				
模試と解説 (21) (22)			5				
合 計			100				
時間外学習について							
①MKV英単語集を1日見開き2P(15問~18問)を月曜日~金曜日「声に出して発音して・フレーズ単位で書いて」覚える。 (Reading /Writing) ②指定された教科書や問題の予習を行う。							
成績評価の方法及び評価割合について							
その他(科目と実務経験との関連性について)							

科目名	総合演習 I or II			担当教員名	坂本 勝			<input type="checkbox"/> 実務経験		
学科名	公務員		学科	学年	1	単位数(時間数)			120時間	
実施時期	4月	～	10月	授業形態	講義	演習	<input type="radio"/>	実習	実技	<input type="radio"/> は主、 <input type="triangle"/> は併用
教科書 及び参考書	教科書及び参考書は使用せず、模擬試験や過去問題を使用しての授業となる。									
授業の概要とねらい										
公務員採用一次試験で最もオーソドックスな教養試験突破のための講座として実施する。										
到達目標										
模擬試験においては正答率6割、過去問題においては正答率7割を目標とする。										
授業計画										
授業項目・内容					時間数 (コマ)	教育活動(教材、指導上の注意点)				
校内模試①～⑤					45	授業と並行し範囲ごとに得点力を身につける。				
過去問題刑務官(R4～R6)					9	易しめの問題を使用し実力の確認をする。				
過去問題国家一般税務(R3～R6)					12	過去問題を使用し実戦力をつけていく。				
過去問題裁判所職員(R4～R6)					9	過去問題を使用し実戦力をつけていく。				
合 計					75					
時間外学習について										
誤答を正答に変えるための誤答ノートを作成、提出させる										
成績評価の方法及び評価割合について										
その他(科目と実務経験との関連性について)										